

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援（第5期）				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸
	研究分担者	所属・職名	静岡県国際交流協会・主任	氏名	古橋 哉子
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸

講演題目	外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>1. 目的 静岡県内の外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援を通じて、日本語教育、言語学、社会学等の学際的かつ実践的研究を行うと同時に、支援者の大学生および支援対象の外国ルーツの子どもたちを「将来に渡り多文化・多言語社会を担う人材」として人材育成を行う。</p> <p>2. 背景 静岡県は、外国人人口では全国8位だが、公立小中高校に在籍し日本語指導を必要とする子どもの数では4位と「子ども移民」の多さが特徴的である。また、県内には南米系外国人学校が10校あり、在籍者総数は1000人を超える。彼らの多くが卒業後も静岡で暮らし働くが、日本語教育の指導者も指導時間も圧倒的に不足している。公立学校および外国人学校在籍者の双方への支援が必要である。</p> <p>3. 成果</p> <p>【教育・研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高畑ゼミの学生を月に1度、学校法人ムンド・デ・アレグリア学校（浜松市）へ派遣し日本語教育の補助を行った。高畑ゼミの学生および「多文化共生論 AB」の受講生が、静岡市教育委員会が主催する外国ルーツの子ども支援および多文化交流事業の実施補助を行った（2022年7月29日・多言語の高校進学ガイダンス、2024年1～2月・静岡市プレスクール）。 ・焼津市南部において自治会と外国人住民との交流事業（芋掘り交流会、対話交流会）にゼミ生とともに参加し、参与観察および対話交流会での通訳を行った。 <p>【社会貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高畑は、静岡県の在住外国人に関する公開講座で講師等を務めた。例：2023年7月22日「日本語ボランティア養成講座」（主催・磐田市）、2023年9月9日「静岡市多文化共生サポーター養成講座」講師（主催・静岡市）、2024年1月25日「異文化理解と経営戦略セミナー」コーディネーター（主催・浜松市）、2024年2月14日「外国人介護職員研修交流会」（主催・静岡県社会福祉協議会）等。 <p>【論文・口頭報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高畑幸、2023、「最低賃金の労働市場における外国人労働者の出身国の変遷—静岡県焼津市の水産加工業の事例」岸政彦ほか編『岩波講座 社会学3 宗教・エスニシティ』岩波書店、175-193. ・高畑幸、2023、「関西地方のフィリピン・コミュニティ第一着地点から老後の支えまで」徳田剛・二階堂裕子・魁生由美子編著『地方発 多文化共生のしくみづくり』晃洋書房、161-170. 他多数